

検査技術研究所 創立60周年記念特別座談会 最前線で活躍する中堅社員が参集 超音波探触子専門メーカーの今持を語る



座談会の様子

が好きなこともあり工業高校の機械科で勉強し、担任の先生から当社を紹介されました。この会社であればものづくりに対して色々なことに挑戦でき、自分を高められると思い入社しました。

小林 品質管理部部長の小林正広です。学生時代は医療用超音波の研究を行っていました。別の会社に4年ほど務めた後に当社に入社しました。学生時代から超音波の研究に関わり、そこに携わる仕事に就きたいと考えておりました。当社で勤務できていることは大変

——まずは、【紹介から】お願いします

熊谷　工場長と製造部
部長を兼務している熊谷
啓三です。幼い時は遊び
で玩具を分解して兄に怒
られていきました。中学生
興味を持ち始めて、近所
の鉄工所を遊び場にして
いました。そうしたこと
もあり、溶接への関心が

出席者	(順不同)
関口嘉之氏	(技術部部長)
小林正広氏	(品質管理部部長)
刈谷晃洋氏	(技術部技術課課長)
平井伸一氏	(製造部製造1課課長)
関根春樹氏	(製造部製造2課課長)
検査機器二ユース編集部	

超音波探触子の専門メーカーである検査技術研究所（川崎市川崎区・岡賢治社長）は今年の月3日に創立60周年を迎えた。超音波探触子は、発電・石油・化学精製などの各種プラントをはじめ航空宇宙・鉄道・自動車産業・住宅・建築分野などあらゆる産業における超音波探傷検（UT）に必須の製品であり、同社は高度な技術で超音波探触子を生み出すことで半世紀に渡人々の安全・安心な生活に貢献してきた。本号では同社の60周年を記念して高度な技術・技能および知見の明るさにより、開発・設計・製造・営業・品質管理の現場で活躍しながら後進の指導にも奮闘する同社の中堅社員の協力を得て特別座談会を企画。最前線を引っ張る社員達が高品質な超音波探触子を生み出すための仕事への姿勢や矜持および同社の未来などについて語った。



左から 関根さん、熊谷さん、
平井さん

うに若手社員や部下と接してしていますか

平井 どうに接すれば部下が成長してくれるのかと、いうことは常に試行錯誤をしておりま

す。どのよ

うに若い社員とコミュニケーションを取つて、いくためには私のような年長者側の立場である人間が仕事以外の若い世代に興味のある趣味など話題について関心を持つことが必要だと感じます。そのためコロナ禍で他愛のない会話のできる機会が減ってしまっている、現在の状況はコロナ禍以前にはないやりにくさを感じますね。

熊谷 若い社員とコミュニケーションを取つて、いくためには私のような年長者側の立場である人間が仕事以外の若い世代に興味のある趣味など話題について関心を持つことが必要だと感じます。そのためコロナ禍で他愛のない会話のできる機会が減ってしまっている、現在の状況はコロナ禍以前にはないやりにくさを感じますね。

ら工業高校に進学しました。そして、溶接と関わりの深いUTの必需品である超音波探触子のメーカーである当社に就職し、現在に至ります。

平井 製造部の第一課で課長を務めている平井伸一です。元々は車が好きで自動車メーカーに勤務しておりました。当社に転職後は製造部門一筋で約25年間、探触子やケーブルなど関連製品の製造を行ってきました。

関根 製造部の第2課課長の関根春樹と申します。4月1日に係長から

喜ばしく思います。品をいかに無くすかえながら品質管理についております。

関口 私は技術部を務める関口嘉之と申します。当社の岡村長じ大学の研究室に所へいた縁もあり、当入社しました。私が活動をしていた時はゆる「就職氷河期」、ばれる時期で私自身、戦しておりました。こいつた状況で入社し、め当社に対しても恩を感じてはいる部分が大きです。

A black and white photograph showing two men seated at a long table in what appears to be a conference or meeting room. The man on the left is wearing a light-colored, button-down shirt with a name tag that is partially obscured. The man on the right is wearing a dark jacket over a light-colored shirt and glasses. They are both looking towards the camera. In the background, there is a large window with horizontal blinds and a whiteboard or screen mounted on the wall.

左闇口さん、右刈谷さん

卷之三

下には製品や自分自身に
妥協せずに、こだわりを
持って、ものづくりに取り組んで欲しいといつ
いで指導しています。こ
うすることが自身のレバ
ルアップやユーザーから
の信頼に繋がります。

皆さ
んは若手や
部下を引つ
張る立場で
もありま
す。どのよ
すが期待以上の結果を出
してくれます。一方で目
的的に指示を出して、詳
細な説明をしないと上手
く行かないとも感じま
す。

熊谷 若い社員とコミュニケーションを取つて、年長者側の立場である人間が仕事以外の若い世代に興味のある趣味など話題について関心を持つことが必要だと感じます。そのためコロナ禍で他愛のない会話のできる機会が減ってしまっている、現在の状況はコロナ禍以前にはないやりにくさを感じますね。